

高校生との意見交換会 報告書

地域名	八鹿高等学校		
年月日	令和元年 11月 22日 (金)	会場名	八鹿高等学校
開始時間	15時 30分	終了時間	16時 45分
参加数	生徒 12人 (男性 5人 女性 7人)	教諭 2人	合計 14人
班 長	谷垣 満	司会者	谷垣 満
報告者	班員 全員	書記	谷垣 満
班員名	谷垣満、深澤巧、勝地貞一、瀬原達夫、西谷昭徳、植村和好		
学 生	対 応		
<p>テーマ1 若者が住みたい、住みやすいまちにするには。</p> <p>① 娯楽施設や人が集まる商業施設があればよいのでは。都市部に出ると交通費もかかる。</p> <p>都会っぽくなることも若者には魅力の一つだと感じる。(防犯対策や家賃の安さ、ネット環境や公共交通機関の充実などの生活しやすさなどを含めて。) また滞在時間の長い施設(古着古本屋、カラオケ、ナイターグラウンド、イベント会場や専門学校、大学など)は市の魅力を知ってもらえる機会になると感じる。</p> <p>② 待機児童問題のない子育て環境など、人口が少ないことも魅力になるのでは。</p> <p>③ SNS等を養父市のPRに活用して、都市部からの集客や移住を促してはどうか。</p> <p>テーマ2 若者のUターンに何が必要か。</p> <p>① Uターンのタイミングに合わせた対策が必要。就職時には、やりたい仕事(IT関係・高収入など)や起業支援が地元であれば自然と人が集まるのでは。</p>	<p>① 養父市は県内で一番小さな市で、経済力・規模も縮小してきた。就職や子育て、娯楽施設においても、若者のUターンには企業誘致を含めた経済振興が不可欠であると認識している。近年、運送会社の拠点や大型小売店の進出など変化の兆しもある。</p> <p>③ 養父市のアプリやフェイスブックもあるが、まだ十分ではない。行政・議会のデジタル化を含めて、今後必ず必要なことだと認識している。</p>		

報告に対する質疑	<p>② 八鹿駅周辺の利便性を向上（コンビニ等）すべきでは。</p> <p>③ 塾は高い費用がかかる。市立の塾ができないか。学生が安くで学べる環境（充実した教育環境）を実感すれば、大人になってからも帰郷する喚起になるのでは。</p>	<p>② 近隣の市民から同様の声があり動いている議員もいる。今後取り上げるべき課題であると認識している。八鹿駅を利用する他校の学生からも同様の声がある。採算性から現実的ではない場合でも、NPOや無人・キャッシュレス決済コンビニなど手法はある。課題を共有する学生の連携によって実現する可能性はあるのではないか。</p> <p>③ 民業圧迫との兼ね合いもあり、公共では難しいかもしれない。学生時代の経験が「将来住みたいまちと思うか」につながる。そのような視点でまちづくりを行うことがUターン政策になると思う。</p>

テーマ3 その他

- | | |
|---|--|
| <p>① 駅からの通学路が長く冬季は雪かきがされていないことがよくある。スクールバスがあれば、また八鹿駅に駐輪スペースが欲しい。(現状の台数では足りていない。)</p> <p>② 市外から通学する学生のバス代が高い。支援があればと思う。同様に都市部へ行く場合や、進学後帰省するにも交通費が高いと感じる。</p> <p>③ 農業に関心が高まっている。但馬農業高校に宿舎があれば、都市部からの学生が増えるのではないか。</p> <p>④ 学校近くのコンビニの休憩スペースは学生の利用が多く一般の方が利用しづらい時もある。ペアの中にそのような場所があればよいのでは。</p> <p>⑤ 通学路で大通りを過ぎると街灯が少なく危険。バスも本数が少なく不便である。</p> <p>⑥ サブカルチャーを魅力に取り入れては。歴史やアニメの聖地巡礼や萌えキャラのVtuberも観光資源になる。またボランティアの好きな高校生もいる。イベントやコアな情報発信にアクティブな高校生を生かしてほしい。</p> <p>⑦ 夏休みと卒業旅行シーズンに大阪や娯楽施設への直通バスがあり、帰省や大学見学にも活用できる。京都行きも含めて通年で運行してほしい。</p> | <p>① 除雪は車道がメインになっていることや歩道がない部分もあり学生には不便を強いている状況も認識している。スクールバスと駐輪スペースについて公共交通機関や当局との調整を含め調査したい。</p> <p>② 市内居住者には一か月の通学定期代が1万5千円を超える分について補助をしている。議会提案で実現したもので利用も多い。市外からの学生に補助がないのも事実である。地方部の通学費については県にも要望をしており切実な課題であると認識している。</p> <p>③ 下宿する学生と受け入れ側への助成制度はあり、現在も対象者が1名おられる。</p> <p>④ 以前はペアにそのようなスペースがあったが残念だが無くなった。休息や読書、軽食ができるスペースの必要性は認識している。</p> <p>⑤ 自動車側からも見えづらく危険だと感じる。自治協を通じて補助を行い街路灯・防犯灯のLED化なども進めており、改良はされつつある。不十分な箇所があることも事実である。</p> <p>⑥⑦ 全国の自治体は地方創生でこれからの総合戦略を定める予定にしている。養父市の大きな計画の中に、現役高校生の声が盛り込まれるような策定方法を検討すべきであり、議会としても求めていきたい。頂いた意見を議会としてまとめ、反映できる部分について頑張っていきたい。</p> |
|---|--|

学 生	対 応
<p>備考</p> <p>まとめ・その他感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝来市と比べて娯楽施設が少ない。養父市も（若い世代にとって）良い場所になって欲しい。 ・議会（議員）と会話する機会は政治に触れることに近いのでは。よい経験になった。 ・朝来市をうらやましく思うことが多い。養父市の魅力を増やしていければと思う。 ・議員、先生、生徒、男女など話が広がり、良い所も改善すべきところも見えた。市民として行政の話ができたことが良かった。 ・香美町出身だが、養父市は良いところだと思う。魅力を増していけばいいと思う。 ・足を運んで頂き、議員が市のことを考え思っていることが感じられた。政治に興味はなかったが市の魅力など自分で探して発信していこうと感じた。 ・貴重な経験だった。電車通学の全員が八鹿駅から自転車で通いたいと思っている。声を聞き入れてもらえると嬉しい。 ・議会との意見交換は貴重な経験だった。生徒の声を聞き入れてほしい。 ・議会は養父市のことを大切に思っていることを改めて感じ、市民として嬉しかった。 ・市の良い所を改めて感じる事ができた。教師になって市に戻り貢献したい。 ・言いたいことをたくさん考えてきたが、まだ言い切れていない。是非伝えたい。 ・高校生の声を直接議員に伝える機会は少ない。このような機会を是非継続してほしい。市全体（老若男女）の利益を考える上で、高校生の意見だけを取り入れられないと思うが、一つでも叶うことで若い世代のUターンや少子高齢化の対策につながれば嬉しい。 	

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年 11 月 22 日

報告者 班長 谷垣 満

